

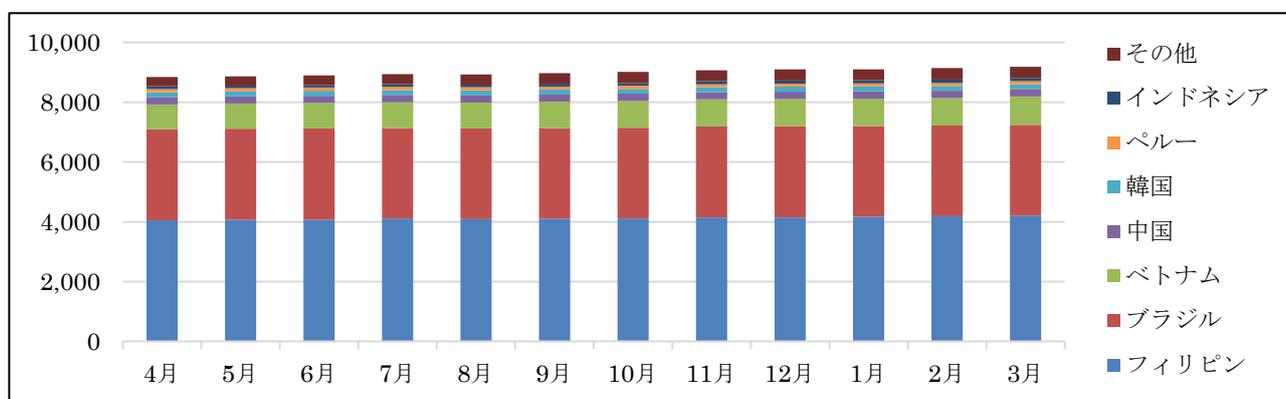
2024年度 事業報告

日本に暮らす外国人数は、2024年12月約370万人となり、過去最高となっている。可見市においても外国人の転入は、毎月微増しており、近年多国籍化している。

フィリピン、ブラジルの人たちで80%弱。目立たなかったが、ベトナムなど東南アジアの国々からの増加が続いている。以前から約43か国の方々が居住されているが、在留資格的にも家族帯同できる人たちが多くなり、子どもも増加している。多国籍化への対応が進みつつある。

半面、可見市の全体人口は減少しており2024年4月以降10万人を下回っている。増加を続けている外国の人たちも地域で暮らしている市民であり、多くが働いている納税者である。市内各地域に広がりつつある外国人市民について、市内各地域での多文化共生促進は今後も、取り組む必要がある。

可見市の人口 2024年4月～2025年3月の国籍別外国人人口推移



総人口 170人減 (2024年4月99,826人→2025年3月99,656人)

外国人人口 349人増 (8,839人→9,188人)

	フィリピン	ブラジル	ベトナム	中国	韓国	ペルー	インドネシア	その他	外国人人口	総人口
4月	4,054	3,043	826	247	166	105	91	307	8,839	99,826
5月	4,070	3,042	840	244	168	105	90	310	8,869	99,842
6月	4,071	3,052	856	236	169	104	92	314	8,894	99,827
7月	4,110	3,021	870	239	169	104	91	332	8,936	99,821
8月	4,093	3,027	868	239	170	105	89	339	8,930	99,814
9月	4,105	3,033	884	233	168	102	91	353	8,969	99,820
10月	4,110	3,033	903	239	168	102	86	370	9,011	99,811
11月	4,141	3,044	907	240	168	100	103	361	9,064	99,819
12月	4,146	3,048	917	244	167	100	107	368	9,097	99,781
1月	4,167	3,032	916	247	167	99	109	362	9,099	99,761
2月	4,187	3,032	919	245	163	98	110	383	9,137	99,690
3月	4,209	3,031	955	244	163	99	107	380	9,188	99,656

A 可児市多文化共生センター管理運営事業（可児市指定管理委託事業）

- 1 情報の収集・発信・提供業務
- 2 日本語の学習支援業務
- 3 在住外国人の相談に関する業務
- 4 市民交流の場と機会の提供業務
- 5 多文化共生センターの管理運営業務
- 6 その他総務関連

B 多文化共生にかかわる事業（協会自主事業）

- 1 言語学習支援活動
- 2 定住外国人の子どもの教育支援事業
- 3 地域社会への多文化共生促進事業
- 4 情報交流・発信活動
- 5 協会事務局体制

A 可児市多文化共生センター管理運営事業

(可児市指定管理委託事業)

1 情報の収集・発信・提供業務

- ・資料・図書の整備・日刊紙の閲覧と関連記事の掲示
- ・多言語での情報提供及びイベント等地域情報等の掲示や提供
- ・HP、メールマガジン、フレビア facebook（日本語教室 facebook）の活用、Instagram での動画配信など SNS の活用拡充
- ・無料 wi-fi
- ・フレビア便りを発行し HP に掲載（印刷したものは、市役所及びフレビアのみ配置）

2 日本語の学習支援業務

- ・日本語交流教室
内容：読み書き、会話、グループで学習及び文化体験等
土曜日 19:00～20:30 実施回数：28 回 参加者数：115 人（累計 311 人）
コーディネーター：馬淵 愛
指導者：田牧 恵子、内田 貴子、各務 清香、遠藤 佳代、佐藤 益矛、今川 孝博、吉村 瑞生、箕田 美智子、大坪 光弘、松浦 正、安藤 遥香、平野 二郎
- ・日曜日日本語教室
内容：地域生活者として必要な会話やことばの学びあい及び文化体験等
日曜日 13:30～15:30 実施回数：28 回 参加者数：120 人（累計 341 人）
コーディネーター：菰田 さよ
指導者：神谷 明子、古沢 光子、伊藤 章子、遠藤 佳代、佐藤 益矛、川井 俊樹、松浦 雅子、今枝 一美、山田 久子、佐久間 結香、安藤 敦子、平野 二郎
- ・日本語多様化
 - ① JLPT N3 対策講座 実施回数：8 回（5 月～7 月） 参加者数：10 人
コーディネーター：菰田 さよ 指導者：今枝 一美、平田 綾子
 - ② いろいろな方法で日本語を学ぼう
内容：多読、文法、言葉つなぎなど、会話以外の方法での日本語力向上を目指す
実施回数：4 回（11 月～1 月） 参加者数：5 人 指導者：山田 久子、菰田 さよ

【成果・課題】

- ・日本語教室に継続して参加する若者たちの横のつながりができ、教室以外の地域の活動に参加している。また、学習者が少しずつ増えてきて、特に若い学習者が継続して参加している。今後は、市内の在住外国人と、教室参加者の背景を比較しながら、この地域に必要とされる教室と学習者が必要とする教室を分析し、日本語教室に参加していない国籍の人たちへのアプローチの方法を検討していきたい。

3 在住外国人の相談に関する業務

・日常相談窓口（常設）

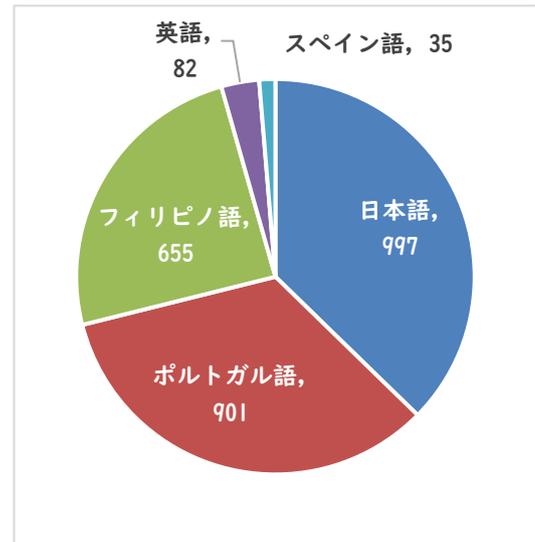
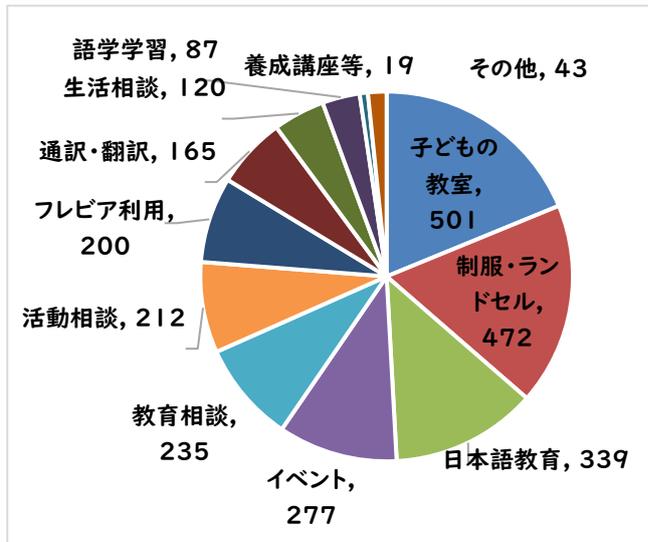
内容：在住外国人の日常生活全般、市民活動や交流・施設利用などの相談窓口業務

外国人相談窓口：9:00～18:00 日本語、ポルトガル語、タガログ語、英語

スペイン語（平日 12:00～21:00 土曜日 9:00～18:00）

日常生活相談等は、開館時間内

生活相談件数合計：2,670 件



・法律相談会 毎月第1日曜日 13:00～15:00 9回実施

相談件数：17 件

相談内容：借金、離婚、親権、職場トラブル等

・入管相談会 毎月第2金曜日 9:00～12:45 5回実施

相談件数：7 件

相談内容：子どもの呼び寄せ、在留資格の更新等

・災害時対応訓練の実施

- ・多言語支援センター立ち上げ訓練及び災害時ボランティア研修

対象：災害時ボランティア登録者、在住外国人及び外国人に関わっている人

- ・水防訓練 6月2日（日） 可児市の訓練と連動し多言語支援センター設置訓練を実施

- ・可児市防災訓練 9月1日（日） 天候不良により中止

・フレビア職員向け多言語支援センター設置訓練

10月28日（月） 講師：高木和彦氏（クリア専門家派遣）大久保由雅氏（城陽市国際交流協会）

参加者：15 人

- ・職員及び災害ボランティア研修（詳細は、P24 参照）

12月15日（日） 12:30～15:30

講師：高木和彦氏、村上典子氏（NPO 法人タブマネ全国協議会）

多言語支援センター設置訓練、外国人防災リーダーによる講義、相談窓口対応訓練

日本語学習者が被災住民となり相談対応する訓練を実施

参加者：22人（日本語教室学習者含む）

4 市民交流の場と機会の提供業務

「多文化共生フェスティバル in 可児 2024」

内容：SDG's で楽しいおまつりをつくろう

日時：11月24日（日） 10:00～16:00

実行委員：山田久子、サカモト プリシラ アユミ、ナカジマ エミリー、ヤスタ アキナ、
ツルオカ カイラ、浦田愛子、佐橋志保子

目的：特技を生かした歌やダンスの発表や趣味を生かしたクラフト作品などの展示販売
フレビア全館と旧分室跡地駐車場を使い多様な文化の体験や交流の機会の場をつくる

参加者：762人

参加団体：岐阜県警察、名古屋出入国在留管理局、可児市環境課、キッチンカーやクラフト
など出店19店舗

5 多文化共生センターの管理運営業務

- ・センターの窓口業務、使用許可業務（使用申請の受付・許可・利用料徴収）
- ・センターの施設・設備の維持管理業務（日常点検・保守及び保安、清掃等）
- ・一般受付対応時間：9:00～22:00（常時2人・夜間1～2人 昼間・夜間の2シフト体制）
- ・センターの管理・運営日常業務は協会の事務局スタッフ職員が全て担う

事務管理担当：常時2人体制（一般受付と同じ）

業務時間：昼間業務：9:00～18:00、12:00～21:00 夜間業務：17:00～22:00

（シルバー人材派遣の場合 18:00～）

- ・休業日（休館）：毎週水曜日及び年末年始（12月28日～1月4日）
選挙会場として10月26日（土）27日（日）休館

- ・管理運営業務の実施状況

利用状況、来場者数、相談件数、経理状況、施設保守点検等について、毎月10日までに実績
報告書を可児市に提出

避難訓練

6 その他総務関連

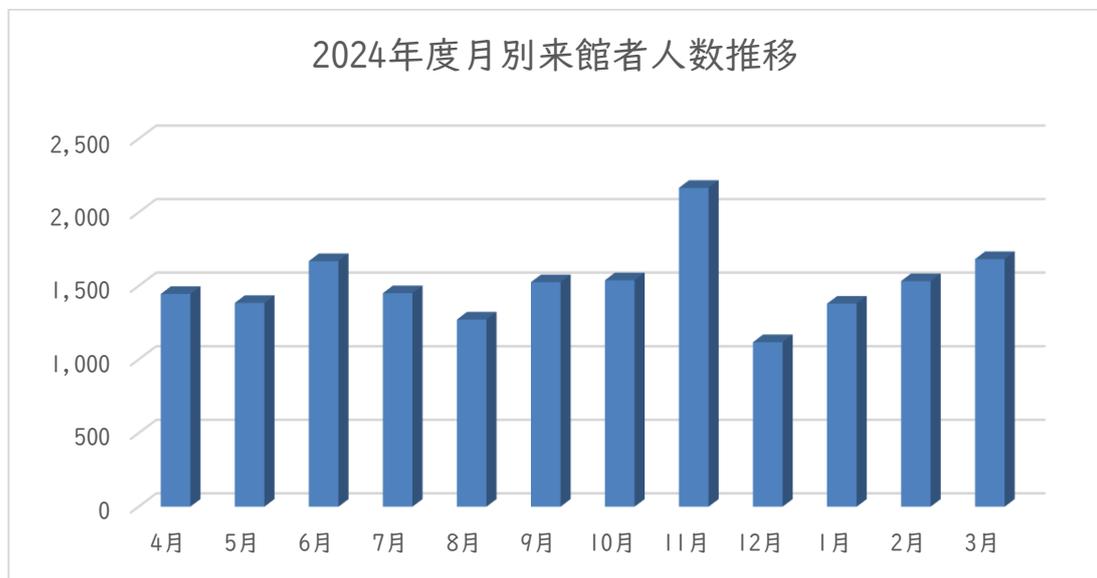
業務委託

- ・施設機械整備
- ・電気保安点検 4/1、6/7、8/8、10/1、12/5、2/12 年次点検 2/12
- ・ごみ収集 毎週火曜日、金曜日
- ・清掃 毎週月曜日、木曜日、土曜日
- ・床ワックス 2/5
- ・防災設備点検 8/9、2/3
- ・空調点検 3/19
- ・植栽の剪定 6/30
- ・電気点検 2/12 ・外付けイベント用コンセント撤去工事 (2025/4/7)
- ・会計 田島会計事務所 月次チェック、中間決算、決算など

建物西側ガラス破損修理

来館者数 2024年度 18,169人 開館日から累計 458,542人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,446	1,385	1,669	1,451	1,272	1,526	1,539	2,167	1,118	1,380	1,533	1,683	18,169



11月は多文化共生フェスティバルがあり来場者が多い。
コロナ禍の終息で少しずつ来場が増えてきたが、以前は1日平均100人という来場者数からするとまだまだ戻り切っていない。

視察など

(人)

4	22	月	佐賀県庁職員	2
5	13	月	日本財団 フレビア及びおひさま教室	4
6	24	月	JICA 中部新入職員研修	5
7	2	火	高山市市長広報室長他	7
7	16	火	国民生活産業・消費者団体連合会（生団連）	2
7	18	木	健康増進課インターンシップ学生フレビア見学	2
7	23	火	一般財団法人自治体国際化協会（クリア）	2
8	20	火	健康増進課インターンシップ学生フレビア見学	
8	29	木	健康増進課インターンシップ学生フレビア見学	
9	17	火	半田市	9
9	17	火	ハンドインハンド フレビア及びおひさま教室	7
10	25	金	三菱地所 大阪同和・人権問題企業連絡会第7グループ	12
11	8	金	可茂県事務所所長浅井氏他	2
12	16	月	自治体国際化協会市民国際プラザ泉水氏他	2
12	22	日	特定非営利活動法人 Living in Peace	7
1	14	火	安城市市民協働課鳥居氏	1
1	30	木	下恵土地区民生児童委員	11
2	13	木	岐阜聖徳学園大学短期大学部幼児教育学科「国際交流」	8

*視察対応を有料とした。

B 多文化共生にかかわる事業（協会自主事業）

I 言語学習支援活動

1) 子どもの語学学習教室

ポルトガル語学習を通じ、母国の文化を学ぶ

コーディネーター：馬木 照子

・基礎から学ぶポルトガル語

内容：ポルトガル語の基礎からの学習

平日クラス 2クラス 土曜日クラス 4クラス 2時間半 参加者：69人

指導者：平日金曜日：(2) スズキ ヘジナ リコ (1/4まで)、阿久津 エルザ サチコ
トレビザン シマブクロ サンドラ (1/31～)

土曜日：(4) 坂江 レアンドロ ユウキ、スズキ ヘジナ リコ、篠塚 カミラ エミコ
大山 グスタヴォ ヒデオシ

【成果・課題】

現在、両言語の力が弱い子どもたちが増える中、この教室で母語を学ぶことによって、より深く対話ができるようになるために、家族とのコミュニケーションの重要性や日頃からの保護者の母語での働きかけが必要だと感じている。

・ポルトガル語で英語

内容：英語教室

土曜日 4クラス 1時間 参加者：49人

指導者：坂江 レアンドロ ユウキ、大山 グスタヴォ ヒデオシ

【成果・課題】

基本的にアルファベットができる方向けの教室で、学校の勉強に役立つように、英語学習をする。レベルは、小学生から中学生の範囲で、子どもたちが社会に出ても、英語が役立つようにしている。

・グローバルクラス

参加者：8人 火曜日 2時間半

指導者：坂江 レアンドロ ユウキ

内容：対象は中学生以上で、社会に出ても通用できるためのクラスで、ポルトガル語の基礎がある生徒は、スキルアップすることを目指して、授業では日本語、ポルトガル語、基礎英語を翻訳したり、いろいろな記事を読んで、自分の意見を書いたりミニ作文を書いたりしている。

・大学生の研修受け入れ（ブラジルの通信制大学） 2人受け入れ

・Project GAMBATEANDO（親子で協働するライティング・プロジェクト）

* GAMBATEANDOとは、ブラジルコミュニティでしばしば使用する日本語〔がんばる〕+ポルトガル語〔～ANDO（現在進行形を示す語尾）〕の合成語

参加者：グローバル人材生徒 7人

コーディネーター：馬木 照子 指導者：坂江 レアンドロ ユウキ

支援者：各務 眞弓、近藤 利恵 外部支援者：立命館大学教授 佐野 愛子氏

実施日：2024年12/10, 2025年1/7, 1/14, 1/21, 1/28 計5回

18:30~21:00

【内容・成果】

グローバルクラスに通う多文化多言語の子どもとその保護者が協働して日本語と母語でオリジナルの物語の紙芝居を創作した。外国に来たばかりの子を主人公とする物語や国境を超える人々の体験に根差した物語、また、ブラジルで有名な民話の再話など。その創作活動を通して、子世代・親世代共に、複数言語環境に生きる中で、封印してきた自らのアイデンティティを共に解き放ち、表現者としての自分たちの「声」を確立していった。日本語が強い参加者（主に、日本生まれの子ども世代）は日本語で、ポルトガル語が強い参加者（主に、ブラジル生まれの子どもと親世代）はポルトガル語での創作を主に担当しつつ、二言語の物語を完成させるために互いの言語資源を最大限に活用しながら、イメージをすり合わせていった。

取り組み及び作品のパネル発表：2025年2/15 東京外国語大学

日本語能力評価方法の改善のための調査研究事業 事業推進会議

作品（紙芝居）の読み聞かせ：2025年3/29 カニミライブ

2) 相互理解のための語学学習活動

■語学講座 前期 5月~10月 事業見直しのため後期開講せず

全10回 1回90分

コーディネーター：渡辺 美也子

講座名	講師名	開催曜日	時間	人数
ポルトガル語基礎	ルーデス ミツエ	第2・4木曜日	19:00~20:30	6
ポルトガル語会話	坂江 レアンドロ	第1・3木曜日	19:00~20:30	11
中国語上級	浜口 旭波	第1・3土曜日	14:40~16:10	8
ハングル会話	黄 載和	第1・3木曜日	10:30~12:00	12
スペイン語基礎	天野 泰世	第2・4土曜日	13:00~14:30	9
英語会話	エクセルアカデミー	第2・4火曜日	11:10~12:10	9
			合計	55

【成果・課題】

事業見直しで語学講座から、サロンに移行することができたが、ポルトガル語基礎はサロン化することができなかった。どのサロンもレベルが高く、中級以上程度であれば、ワンコインレッスンとして体験し、入会することができるが、初心者には、ハードルが高い。「初心者の受入れをどうするか」が、課題である。

■語学サロン 後期 11月～3月 *は、新たにできたサロングループ

講座名	講師名	開催曜日	時間	人数(人)
*ポルトガル語	坂江 レアンドロ	第1・3木曜日	19:00～20:30	7
中国語(長城)	庄 暁暉	第1・3土曜日	10:00～12:00	10
*中国語(青藍)	浜口 旭波	第1・3土曜日	14:00～15:30	4
*ハングル(チェミイヌン)	黄 載和	第1・3木曜日	10:30～12:00	9
ハングル(サランバン)	黄 載和	第2・4木曜日	10:30～12:00	12
スペイン語	天野 泰世	第2・4土曜日	10:30～12:00	13
*スペイン語(ラスマハス)	天野 泰世	第2・4土曜日	13:00～14:30	7
英語会話(Rainbow)	エクセルアカデミー	月1回 火曜日	10:30～12:00	4
			合計	66

3) 日本語で交流しよう「ワタシバ」 (公財)岐阜県国際交流センター助成

毎月第3日曜日 13:30～15:00 場所:今渡地区センター/可児市福祉センター

実施回数:10回(4月～2月) 参加者数:累計78人(日本人・外国人)

コーディネーター:菰田 さよ

サポーター:安藤 啓治、南谷 弘子、佐橋 志保子、渡辺 幸子、沖田 文香、

ヴォ ティ タン フェ、バグシカン カリル

協力:ガム、トア、キエウ、ジョアン、安藤ちづこ

【その他の活動】

- ・2024年6月30日(日)、7月14日(日)土田で活動する他団体の活動(竹あかり作り)への参加
- ・2024年10月20日(日)土田地区社協主催 World Day in Dotaにてゲームブースを担当
- ・2024年11月3日(日)土田地区センターまつりにてブース出展
- ・2024年11月24日(日)多文化共生フェスティバル in 可児にてブース出展

【成果・課題】

- ・場所、内容などに工夫を凝らしながら取り組んでいる。また、来年度以降、任意団体として自立に向けて体制や役割などを決めることができた。
- ・月1回の活動だけではなく、地域の活動にもボランティアなどで参加し、地域での橋渡し役が少しずつできている。
- ・ワタシバがどのような場所なのかを外国人にわかりやすく伝え、参加者を増やしたい。

4) 通訳・翻訳業務

- ・各種通訳・翻訳 ボランティア登録者を紹介

(ポルトガル語、英語、フィリピン語、中国語、ベトナム語、スペイン語など)

通訳:12件 翻訳:25件(1件中に複数言語の依頼があり)

【成果・課題】

通訳依頼のほとんどは、他の行政からの依頼である。翻訳は、個人の依頼と、行政・企業の依頼が半分半分である。通訳者の人数が少ないことが課題である。

5) 地域日本語教育支援事業

- ・文化庁地域日本語スタートアップ事業アドバイザー派遣（御殿場市）各務
 - 7月24日（水）13:30～ キックオフ会議（第1回コーディネーター会議）
 - 8月16日（金）13:00～ 第1回アドバイザーのみ会議
 - 9月30日（月）10:00～ 第2回コーディネーター会議
 - 1月23日（木）10:00～ 第3回コーディネーター会議
 - 2月27日（木）13:30～ 第2回アドバイザーのみ会議
- ・岐阜県地域日本語教育コーディネーター派遣事業協力（企業内日本語・土岐市）
 - 企業内日本語教室へ派遣 菰田
 - 派遣期間 7月～2月 教室の立ち上げ及び運営など
 - 土岐市日本語教室に派遣 各務
 - 7月8日（月） ヒアリング
 - 9月7日（土） 教室見学及びミーティング
 - 10月5日（土） 教室見学及びミーティング
 - 2月1日（土） 教室見学及びミーティング
- ・岐阜県国際交流センター事業への協力
- ・「やさしい日本語」研修の普及
 - 企業、可児市工業団地組合への働きかけ

- ・企業内日本語 株式会社片山製作所
 - 正社員に登用された外国人が安定した職業として、
 - ・日本人社員とのコミュニケーションの向上を図る
 - ・仕事が円滑に進むための日本語習得の促進
 - ・日本社会で安全に生活するための知識を身に付ける
 - ことを目標に、日本語教室を実施した。

期間：2024年3月7日～9月5日

日時：毎週木曜日 16:00～17:00 6ヶ月全24回 場所：株式会社片山製作所

参加人数：ベトナム社員2名

コーディネーター：近藤 利恵 指導者：今枝 一美、近藤 利恵

【成果・課題】

- ・会社内で外国人社員と日本人社員とのコミュニケーションが希薄であることが分かったので、日本人社員とコミュニケーションを図ることを目的とした宿題を意図的に毎時、出した。宿題のミッションを達成することで、相手のこと、性格や人柄を知る良いきっかけとなった。
- ・外国人社員だけが、会社内で日本語を学ぶのではなく、日本人社員も外国人社員にどのような日本語を使って寄り添えば、コミュニケーションが図れるのか、考え学ぶことも大事であることを企業は理解され、今後「やさしい日本語」講座を開講することを検討されることになった。

2 定住外国人の子どもの教育支援事業（子どもの就学支援事業）

1) 外国人の子供の就学促進事業【可児市委託】

・在住外国人の子どもの進学支援教室「さつき教室」 場所：可児市総合会館

可児市内在住の外国につながる中学卒業又は、15歳以上の高校進学を希望する子どもへの日本語と教科指導、高校見学・試験対策などの入試サポート、地域交流など

4月～3月 月・火・木・金 10:00～16:00

在籍者数：16人

コーディネーター：後藤 一樹

指導者：大澤 まゆみ、夏川 徳子、羽賀 順子、バグシカン カリル、柴田 緑、加藤 暁美、大澤 日奈子、山田 久子、奥村 綾、佐橋 志保子、佐久川 カロリーネ

【成果・課題】

- ・会話力を重視する教材の導入により、日本語で話す力、話そうとする意識が向上した。
- ・語学学習で難易度の高い、読解・作文の力を向上させる取り組みを充実させていく。
- ・数学では指導方法が明記してある教材に変更することで、指導方法が統一化され、生徒も混乱することなく学習することができ、全体の数学のレベルが向上した。
- ・定期試験の導入により、生徒たちの理解力を確認することができ、より適切な指導内容や指導方法で対応できるようになった。
- ・社会見学、スポーツイベント、ワークショップを行うことで、学習へのモチベーション維持を図るとともに、教師と生徒の関係性、生徒同士の親交を深めることができた。

【行事】

- 4月8日 始業式+レク
- 5月10日 オリエンテーション
- 5月24日 日本文化体験（犬山）
- 6月17日 進路学習会
- 6月20日、21日 定期試験
- 6月24日、25日 DLA
- 7月5日 セタ行事 短冊・飾り付け
- 7月9日 オンライン交流（共愛学園前橋国際大学）
- 7月16日 スポーツレク
- 7月22日 ワークショップ [アバターマッピング]
- 8月6日 加茂農林高校オープンキャンパス
- 8月8日 性教育ワークショップ
- 8月22日 シチズン・ワークショップ
- 8月26日、27日 共愛学園前橋国際大学 交流会
- 8月3～24日 三者面談
- 9月12日 定期試験（日本語、数学、漢字）

10月3日 加茂地区の高校の一日入学
10月12日、13日 にじいろ☆キャンプ(福井/三方青年の家)
10月29日 スポーツイベント(広見地区センター)
11月19日 社会見学「名古屋市科学館」
11月22日 加茂高校定時制・授業見学
11月24日 多文化共生フェスティバル
12月19日 定期試験
12月20日 大掃除・お楽しみ会
1月28日 模擬試験
3月7日 陶芸体験(陶器の皿づくり実施)
3月11日 修了式、スポーツレク
3月25日 教室最終日(お楽しみ会実施)

- ・在住外国人の子どもの就学支援「ゆめ教室」
不就学、不登校、自宅待機の義務教育年齢の子どもの学校につなげる日本語や教科指導
体験学習や地域交流、進路ガイダンスなど

＊主に不登校支援のクラスを「ゆめスマイル」と呼んでいる。

場所：フレビア

ゆめスマイル：月・火・木・金のうち、週に1~2日 10:00~12:00

ゆめスマイル在籍者数：2人(1人：7月~9月、1人：1月~2月)

コーディネーター：近藤 利恵

ゆめスマイル支援者：渡邊 結衣、近藤 利恵

- ・学校入り込み：月~金 午前中3コマ程度

期間：2024年10月~2025年3月

場所：蘇南中学校国際教室

コーディネーター：近藤 利恵

学校入り込み支援者：大澤 日奈子、菰田 さよ、佐久川 カロリーネ、羽賀 順子、
山田 久子、渡邊 結衣

【成果・課題】

- ・生活言語は問題のない生徒が、学校での授業にはついていけない苦しさを支援者が理解したことで、学習のつまづきを分析し、弱点を重点的に取り組み、理解度を向上させた。生徒は徐々に自信がつき始め、学校に行ってみようかな、という気持ちになることができた。
- ・ゆめスマイルと在籍校を交互に出席できるように努めた。
- ・ゆめスマイルでの様子を在籍校の先生と日々、情報共有することで、生徒が在籍校に登校した時に、安心して、授業を受けられる体制をとることができた。生徒から学校での様子をゆめスマイルで、また聞けることが、何よりも嬉しく感じられた。
- ・学習だけではなく、生徒の不安を理解し、寄り添える支援者の人数が少なく、生徒の受け入れを増やすことができない。
- ・蘇南中学校の国際教室での入り込み支援を行うことで、学校の授業の組み立てなど、どのよう

にクラス運営をしているのか、学校の先生がどのような声掛けをしながら、生徒に寄り添っているのか、そして、学校の通訳者がどのようなタイミングで生徒に通訳をしているのか、など、生徒に支援をしながら、支援者自身も学ぶことができ、自分が関わっている教室にフィードバックすることができた。

・就学前の準備指導「ひよこ教室」 場所：Lポート可児

小学校入学のための準備指導、集団生活や日本語に慣れる、学校のルールを知るための生活指導等

可児市の外国人児童生徒コーディネーターと連携し、外国人向けの園に通っていたが、保護者の希望により日本の園への転園を希望するケースについて、公立幼稚園を紹介した結果、2件の転園が実現しました。また、就園相談を受けたケースは8件あり、そのうち5件はひよこ教室に通った後、日本の園に転園しました。育児支援がなかったため、半日対応を実施しました。

10月～3月 月～金（水曜日除く） 9:30～12:00 保育園、幼稚園巡回も含む

コーディネーター：ヴィンルアン ジェームス、野崎 早知

指導者：森 あす香、山田 久子、渡辺 幸子、ライオンズ 美紀、大澤 日奈子、
桑田 亜矢、系数 明日香、テイラオ ジョイ、佐口 小夏、長瀬 英里

在籍者数：30人（認可外保育園との連携より支援した子どもも含む）

6月13日 土田小学校 幼保小連携協議会

6月18日 今渡南小学校 幼保小連携協議会

6月21日 広見小学校 幼保小連携協議会

課外活動

いもほり体験&さつまいも試食（10/4, 10/7）

読み聞かせ（月2回）

体育館活動（月2回）

お誕生日会（隔月1回）

アートワークショップ（10/22, 11/7）

ふるさと川公園遠足（11/25, 11/26）

リトミック（11/1, 11/15）

図書館読み聞かせ（12/19-20, 2/20-21）

授業参観（12/9-17 水曜日と週末除く）

入学準備ガイダンス（1/19）

いのちのふれあいワークショップ（1/27-28）

給食体験（1/30-31）

土田小学校見学・給食体験（2/5）

今北小学校見学・給食体験（2/5）

防災ワークショップ（月1回）・消防署見学（2/6-7）

演劇ワークショップ（1/23-24）

交通安全ワークショップ（3/6-7）

・多文化子育てサロン（全2回）

日時	内容・講師	参加者数
1月19日（日） 13:30～17:00 ※3回に分けて実施	「にゅうがくじゅんび ガイダンス」 可見市立今渡北小学校指指導導教諭 伊左治 ちなみ氏	31組 72名

【成果・課題】

- ・教室のルールやルーティンを理解し、集団生活や時間割で行動すること、日本語で指示を聞いて行動する・発表する・コミュニケーションをとることなどができるようになった。
- ・保護者、教育委員会、子育て支援課、入学予定の小学校と綿密に連携し、就学までに必要な手続きや調整を進めるとともに、就学後の支援体制を整えるための準備を行うことができた。
- ・過去、連携したフィリピン向け認可外保育所が、日本語指導を受けるため、当団体と再連携した。
- ・教育委員会と教室コーディネーターが連携し、未就園児の把握や家庭への働きかけを進めることができた。しかし、上の子の育児経験から園に通わせる必要はないと考える家庭や、日本の教育システムを十分に理解していない家庭、さらには教室までの交通手段がなく送迎が難しい家庭など、さまざまな事情により「ひよこ教室」への参加が困難なケースも引き続き見られた。
- ・地域交流としてさまざまな活動を行ったが、日本人の子どもと関わる機会がなく、日本語のコミュニケーション力が身につけにくく、小学校入学後の適応や学習にも影響が出る可能性がある。市の保育課に提案し、保育園や幼稚園での交流授業の実施を目指していきたい。

・補習教室「きぼう教室」 場所：フレビア及び可見市総合会館

4月～3月

○小学生クラス 土曜日 10:00～11:30 13:00～14:00 14:00～15:00

内容：午前クラスは少人数指導を活かした群読や国語（日本語）と算数の基礎学習、午後クラスは国語・算数を中心に、できる限り個別指導を実施。低学年クラスでは音読・漢字・計算等の集中指導を行った。おもに国語（日本語）と算数の基礎学習。

在籍者数：36人 4月～2月（3月は自主事業）

コーディネーター：善本 安子

指導者：遠藤 晶子、奥村 佳織、佐橋 志保子、中井 佑惟子、夏目 葉子、西尾 桃子、長谷川 千夏、葉名尻 美保子、林 里美、林 由佳、林 桃花、箕田 美智子、山田 久子、渡邊 結衣、河合 律子、野尻 祐衣

【成果・課題】

- ・午前中のクラスを一つに統合し、群読の時間を多学年で行うようにした。

- ・音読に自信を持てる子が増えてきた。
- ・きぼう教室用のワークを各自で購入し、当該学年の内容を理解することを目標に取り組んでいる。苦手単元を見つけやすくなった。
- ・3か月続けて月謝が未納の場合は相談の上、休室・再開時期の相談をすることにした。未納まま連絡が取れなくなるケースもある。次年度は前払いで支払う方法に変更する。

○中学生クラス 土曜日 15:30～18:30

在籍者数：23人 4月～3月

コーディネーター：バグシカン カリル

指導者：佐橋 志保子、飯田 英樹、大澤 日奈子、カランテス ヘンリー、林 由佳、

田頭 まや、中井 佑惟子、丹羽 保晴、パドゥア アイコ、野尻 祐衣、河合 律子

実施内容：国語・数学・英語を中心に、学び直しも含めた復習、予習、個々の課題にそった支援を実施。

【成果・課題】

- ・前年度の生徒が卒業し人数が少ない時期はA・Bクラスを合わせて15:30～17:30の2時間で全員を指導していた。
- ・7月からは、Aを1・2年生、Bを3年生に変更し、学年に沿った指導に切り替えたこともあり、生徒同士のかかわりが増え、「共に学ぶ、共に成長する」という姿が見られた。
- ・勉強のやり方やコツなども先輩から学んだり、母語が同じ生徒同士で説明し合ったりして助け合う姿も見られた。
- ・支援していた中3生6名が全員志望校に合格できた（東濃高校5人、可児工業高校1人）
- ・学校での学習の困難さを抱えて申し込みに来るケースが多いが、同じ悩みを持つ仲間と学習することが励みになっていて、親身になって寄り添う支援者との学習が、彼らの居場所となっている。成績の向上や進路実現に向ける悩みに寄り添いながら支援を続けていく。

○放課後対面クラス

小学生 火曜日 または 木曜日 17:00～18:00

中学生 火曜日 または 木曜日 18:30～20:00

在籍者数：18人 4月～3月

コーディネーター：尾関 理恵子

指導者：善本 安子、大澤 日奈子、沖田 文香、川中 圭、カランテス ヘンリー、

パドゥア アイコ

内容：小学生クラスはおもに国語（日本語）と算数の基礎学習・苦手克服の勉強。

中学生クラスはおもに数学の基礎学習。3年生は受験対策など

【成果・課題】

- ・放課後クラスでは、現在、小学生クラスと中学生クラスを設置している。高校生ボランティアの参加も増え、母語でも説明を加えながら学習支援も行っている。
- ・小学生は、近い学年の生徒同士が競い合う様子も見られ、楽しそうに学習している。
- ・支援していた中3生6名が全員志望校に合格できた（東濃高校4人、可児工業高校1人、誠信高校1人）

- ・日常会話は問題ないが、学習習慣がなく学習が定着しなかった生徒も、きちんと机に向かい宿題を丁寧に書くことや、音読を正しく読むことで学ぶ楽しさや分かる喜びを体験していて、やる気につながっている。
- ・「学校での授業ではなかなか発言したり、助けを求めたりできない」と話す子が多い。復習として学校で理解出来なかったことが分かったたり、予習として次の学習内容を理解することで学校の学習が分かりやすくなったりすることがうれしいと話していた。
- ・タブレット端末で漢字の学習アプリを紹介したら夢中になるケースがあり、自宅でも同様に続けることになり、学習の定着につながった。学習方法も多岐にわたり、漢字習得には向き不向きがある。個別に対応できることが成長につながっている。
- ・辞書を引く習慣がない生徒が多い中、辞書機能（英訳付き）アプリを使って、多言語で学習することで理解につながっている。自宅での学習にも活用することで、理解が深まっている。
- ・NHK for school の多言語コンテンツを使用して、当該学年の現在の単元を母語で見て理解を深める支援をした。生徒の言語習得の背景により違うが、生徒によってはとても有効だった。

2) 外国人の子どもの高校進学支援業務【美濃加茂市委託】

- ・高校進学支援「かがやき教室」 場所：可児市総合会館
美濃加茂市在住の外国につながる中学卒業又は、15歳以上の高校進学を希望する子どもへの日本語と教科指導、高校見学・試験対策などの入試サポート、地域交流など
4月～3月 月・火・木・金 10:00～16:00
在籍者数：14人
コーディネーター：後藤 一樹
指導者：大澤 まゆみ、夏川 徳子、羽賀 順子、バグシカン カリル、柴田 緑、加藤 暁美
大澤 日奈子、山田 久子、奥村 綾、佐橋 志保子、佐久川 カロリーネ

【成果・課題】

- ・会話力を重視する教材の導入により、日本語で話す力、話そうとする意識が向上した。
- ・語学学習で難易度の高い、読解・作文の力を向上させる取り組みを充実させていく。
- ・数学では指導方法が明記してある教材に変更することで、指導方法が統一化され、生徒も混乱することなく学習することができ、全体の数学のレベルが向上した。
- ・定期試験の導入により、生徒たちの理解力を確認することができ、より適切な指導内容や指導方法で対応できるようになった。
- ・社会見学、スポーツイベント、ワークショップを行うことで、学習へのモチベーション維持を図るとともに、教師と生徒の関係性、生徒同士の親交を深めることができた。

【行事】

さつき教室を参照

高校進学支援「さつきⅡ教室」

場所：可児市総合会館

可児市・美濃加茂市以外の外国につながる中学卒業又は、15歳以上の高校進学を希望する子どもへの日本語と教科指導、高校見学・試験対策などの入試サポート、地域交流など

4月～3月 月・火・木・金 10:00～16:00

在籍者数：5人 ※土岐市、御嵩町、関市、各務原市

コーディネーター：後藤 一樹

指導者：大澤 まゆみ、夏川 徳子、羽賀 順子、バグシカン カリル、柴田 緑、加藤 暁美
大澤 日奈子、山田 久子、奥村 綾、佐橋 志保子、佐久川 カロリーネ

【成果・課題】

- ・会話力を重視する教材の導入により、日本語で話す力、話そうとする意識が向上した。
- ・語学学習で難易度の高い、読解・作文の力を向上させる取り組みを充実させていく。
- ・数学では指導方法が明記してある教材に変更することで、指導方法が統一化され、生徒も混乱することなく学習することができ、全体の数学のレベルが向上した。
- ・定期試験の導入により、生徒たちの理解力を確認することができ、より適切な指導内容や指導方法で対応できるようになった。
- ・社会見学、スポーツイベント、ワークショップを行うことで、学習へのモチベーション維持を図るとともに、教師と生徒の関係性、生徒同士の親交を深めることができた。

【行事】

さつき教室を参照

認可外保育施設におけるプレスクール（就学前支援教室）【美濃加茂市委託】

外国人コミュニティの認可外保育所に通う子供たちのための小学校入学準備指導

10月～2025年3月 毎週木曜日 13:00～15:30

場所：労働者総合福祉センター Lポート可児

コーディネーター：ヴィンルアン ジェームス、野崎 早知（指導者も兼ねる）

指導者：森 あす香、山田 久子、渡辺 幸子、認可外保育園の指導者

生徒数：19人

課外活動

- ・体育館活動（月1回）
- ・授業参観（12/5・12）
- ・Lポート可児の防災訓練参加（12/12）
- ・ボランティアの読み聞かせ（1/19・2/6）
- ・学校見学・給食体験（1/15）
- ・交通安全ワークショップ（3/6）

【成果・課題】

- ・小学校入学に向けての練習である持ち物の片づけや支度など、回を重ねるたびに自分一人ですることが増えていった。
- ・新たに認可外施設とのつながりができたばかりであるため、情報共有または活動の協力がうまくできず、いくつかの混乱した場面がありました。今後、つながりがうまくいくように、連絡方法の構築と、定期的なリマインドを行う必要がある。
- ・教室のルールやルーティンを理解し、集団生活や時間割に沿って行動できるようになった。また、日本語での指示を聞いて行動し、発表やコミュニケーションを取ることができるようになった。さらに、持ち物の片づけや支度を自分一人ですることができるようになり、できない時は指導者に助けを求めることができた。

3) ぎふ外国につながる子どもの教育を考えるネットワーク構築推進事業

【休眠預金草の根事業 中部圏地域創造ファンド】

- ・コンソーシアムとして取り組む

《幹事団体としての取り組み》

- ・コンソーシアム事業及び現場団体の事務局
- ・岐阜県内の学校外で外国につながる子どもの学習支援をする団体とのネットワーク
ぎふ外国につながる子どもの教育を考えるネットワーク会議 開催数：3回
参加団体数：7団体+α
- ・広域連携でのキャリア教育
- ・進路ガイダンス
岐阜県教育委員会と共同で2日間4言語実施（オンライン）
言語：タガログ語、英語、ポルトガル語、やさしい日本語
参加申込者：215人 先輩の話話者：8人
- ・支援者研修など人材育成
- ・近隣市町へのヒアリング調査（岐阜市・御嵩町）
- ・県内全域の多文化共生担当課、母子保健課、社会福祉協議会、日本語教室にアンケート調査
- ・参加団体への支援（アドバイザーやコーディネーターとして事業伴走）

《現場団体①の事業》 NPO 法人可児市国際交流協会

「おひさま教室」場所：Lポート可児

- ・子どもたちの心身ともに日本の幼稚園・保育園に入園する準備が整う
認可外保育園の子どもたちは日本語での指導や教室生活に慣れ、ひよこ教室につなげる
4月～9月 月～金（水曜日除く）9:30～12:00
場所：労働者総合福祉センター Lポート可児
コーディネーター：ヴィンルアン ジェームス、野崎 早知
指導者：森 あす香、山田 久子、渡辺 幸子、ライオンズ 美紀、大澤 日奈子、桑田 亜矢
生徒数：25人（認可外保育園との連携により支援した子どもも含む）

課外活動

- ・よみきかせ（月2回）
- ・お誕生日会（月2回）
- ・防災ワークショップ（月2回）
- ・トマトの苗植え活動（5/13-14）
- ・花の苗植え活動（6/20）
- ・Lポート可児の防災訓練参加（9/24）
- ・蘇南中学校職場体験受け入れ（9/26-27）

多文化子育てサロン（全1回）

日時	内容・講師	参加者数
9月15日（日） 13:30～15:45 ※2回に分けて実施	「にゅうがくじゅんび ガイダンス」 可児市教育委員会事務局 教育研究所 脇田 知里氏	22組 48名

【成果・課題】

- ・可児市子育て支援課との連携（発達が気になる子どもへのアプローチや指導方法についてのアドバイス）
- ・4人の未就園児について、10月7日から公立幼稚園に就園することができた。
- ・フィリピン向け認可外保育園につながり退室した生徒数：1人
- ・就園相談、直接就園したケース 2人
- ・ひよこ教室へつないだ生徒 21人
- ・可児市学校教育課外国籍児童生徒コーディネーターとの連絡（就学に向けた準備・未就園児の情報共有・就学时健康診断参加への働きかけ）
- ・今年度は、子どもの数が多く、指導者の不足で、教室の運営が困難となり、一時的に休室することもあった。継続的な支援のため、より多くの支援者を増やさなければならない。

・学習支援教室「放課後きぼう教室」

4月～3月

【オンラインクラス】

小学生 火曜日または木曜日 17:00～18:00

中学生 火曜日または木曜日 18:30～20:00

在籍者数：11人（4月～9月）

コーディネーター：尾関 理恵子

指導者：大澤 日奈子、沖田 文香、川中 圭、善本 志帆、善本 安子、ドグラン サラ、
パドゥア アイコ、山岡 真智子、藤田 海々莉

- ・中学3年生は過去問・実力テスト問題も活用し、受験対策などを行う

内容：小学生クラスはおもに国語（日本語）と算数の基礎学習・苦手克服の勉強。

中学生クラスはおもに数学の基礎学習。3年生は受験対策など

【成果・課題】

- ・オンラインの良さを生かして、個に寄り添った指導内容を工夫している。
- ・苦手部分に寄り添うことができる強みがあるが、説明がホワイトボード上では難しい場面もある。
- ・ホワイトボード機能のジャムボードが提供終了のため新機能を試しているが、長所も短所もあり、支援者もスキルの再習得が必要で、切り替えに苦慮したが、生徒の方も予想より早く適応し、切り替え後も指導に影響なく進めることができた。
- ・オンラインクラスには、フレビアまで通うことが難しい児童生徒が参加している。支援範囲を広げることで散住地域に住み、多くの困り感を抱えている児童生徒の支援をすることができた。

《現場団体②の事業》 NPO 法人美濃加茂国際交流協会

- ・外国につながる子どものための学習支援 MIRAI II（毎週月・金）
開催数：51回 参加者数：29人
- ・親子教室の開催（毎月1回） 実施回数：7回 生徒数：6人

《現場団体③の事業》多文化子どもエデュ niho☆nico（瑞穂市）

- ・外国につながる子どもの日本語指導教室 実施回数：44回 参加者数：12人
- ・自己表現ワークショップ（11/17）参加者数：19人

《現場団体④の事業》恵那市国際交流協会

- ・東濃5市における外国につながる子どもの学習支援の実態調査 報告書作成 および報告会の実施（12/11）参加者数：41人
- ・小学校へのサポーター派遣 実施回数：100回 生徒数：3人
- ・支援者ネットワークの構築 東濃日本語さばさば会の実施（毎月1回）

《現場団体⑤の事業》認定NPO法人まちづくりスポット

- ・飛騨高山圏域における外国につながる子どもの教育に関する実態調査
- ・外国につながる子どもの未来を考える座談会（9/29）参加者数：23人
- ・学習支援教室、進学支援の実施 実施回数：123回 生徒数：8人

4) 若者の自立支援とネットワーク構築事業【自治体国際化協会（クリア）】

内容：外国にルーツのある若者の居場所づくりと、後輩たちに向けたキャリア教育キャンプ
「にじいろ☆キャンプの実施」

日時：2024年10月12日（土）～13日（日） 場所：福井県立三方青年の家

【1日目】

8:00/9:00 可児駅・岐阜駅集合
12:05 青年の家 着 オリエンテーション
14:00 フィールドワーク
19:00 キャンドルナイト

【2日目】

9:00 先輩の話「キャリアプログラム」
14:00 レインボーライン山頂公園 散策
17:00/18:00 岐阜駅・可児駅 解散

企画運営：岐阜聖徳学園大学 中島ゼミ、外国につながりのある先輩（昨年度キャンプ参加者）

協力：恵那市国際交流協会、岐阜市国際交流協会、ぎふ外国につながる子どもの教育を考える
ネットワーク関連団体

参加者：計 45 名（引率含む）

- ・外国につながるのある 14～18 歳の若者 27 名
国籍：フィリピン・ブラジル・パキスタン・カンボジア・インド
- ・岐阜聖徳学園大学 3 年 5 名
- ・外国につながるのある大学生・社会人の先輩 6 名（企画 2 名、先輩ゲスト 4 名）
- ・子どもネットワーク関連団体・可児市国際交流協会職員他

【成果・課題】

- ・キャンプの参加者の中から運営に関わるなど、運営の良い循環が生まれている。
- ・参加者を県内全体に呼びかけたが、結果として可児市近隣の若者の参加のみとなった。
子どもネットワークの存在や、本取組を周知していく必要がある。
- ・外国につながるのある先輩もそれぞれのライフステージに合わせて、彼ら自身の次のキャリアに向かって歩んでいる。職業の選択肢を広げ、自己実現していくためにできるサポートも考えていきたい。

5) 多文化と福祉の視点をもった教室運営の基盤づくり【かめのり財団助成事業】

- ・運営体制の基盤整備
Teams を活用して子どもの情報共有や行動観察、引き継ぎ方法の確立と手引書の作成を行った。
- ・子どもの行動観察
語彙テストだけでは測ることができない、日本語を聞いて行動する力の育ちを把握するために、行動変化を測るテストを作成した。
- ・指導者研修
【講師】内田千春氏（東洋大学福祉社会デザイン学部子ども支援学科教授）
第 1 回 2024 年 10 月 18 日（金）参加者 5 名
内容「ことばの育ちについて」
子どもの発達段階に応じたことばの成長の基礎的な知識を得るとともに、ことばが育つ環境や発達を促す保育者の関わりについても学び、教室での実践に結びつけて考える。
現在、教室で気になる子どもの具体的な行動についても取り上げ検討し、講師よりアドバイスをいただく。
第 2 回 2024 年 11 月 29 日（金）参加者 8 名
内容「幼児期の育ちについて」
幼児教育において育みたい資質・能力とその相互のつながりを子どもの成長・発達段階と照らし合わせながら学ぶとともに、教室活動に活かせるよう、各地の実践事例を知り、本教室でできることを考える。現在、教室で気になる子どもの具体的な行動についても取り上げ検討し、講師よりアドバイスをいただく。

6) 制服リサイクル活動

- ・市内小中学校の制服やジャージなどを預かり、利用してもらう
（市内中学校は新制服に変更 移行期間 2024 年度～2028 年度は旧をリユースも OK）

もらったもの：682点

あげたもの：739点

・東濃高校からの制服リサイクル協力

7) 外国につながる児童生徒のための学習補習及びこころの居場所づくり事業

【清水育英会×共同募金会助成事業】

■外国につながる子どもたちのオンライン指導研修

～学習支援を一緒にやってみませんか～

参加者：22名申込み

内容：【1回】外国につながる子どもたちの特徴と指導の方法、教室運営について

【2回】ZOOMを使ったオンライン学習指導

日時：①3月10日（月）19:00～20:30

講師：各務 眞弓 尾関 理恵子

②3月21日（金）19:00～20:30

講師：尾関 理恵子

目的：複数言語の中で生活している外国につながる子どもたちの特徴と支援方法について補習教室放課後きぼう教室の実践を共有し、多くの地域で学習支援の拠点ができ、支援の輪が広がること。研修後は、協会の支援者登録もしくは、支援方法などの相談にのる。

3 地域社会への多文化共生促進事業

1) 外国人が輝く共同のまちづくり事業 【自治総合センターコミュニティ助成事業】

■外国人を巻き込んだ災害時多言語支援センター設置訓練

【運営委員会】

日時：5月10日（金）15:00～18:00

出席者：尾崎氏（岐阜県外国人活躍・共生社会推進課）

夏厩氏（岐阜県国際交流センター職員）

岩井氏（防災アドバイザー）

藤村氏（可児市防災の会）

新井氏（可児市防災安全課）木村氏、梅村氏（可児市地域協働課人権・国際係）

山田氏（多文化演劇ユニット MICHI）

KIEA 事務局：菰田、各務

・災害ボランティアセンター立ち上げ訓練への参加

日時：2024年6月2日（日）参加人数：6人

主催：可児市社会福祉協議会

・多言語支援センター設置訓練（9/21 予定であったが台風のため中止）

■フレビア職員向け訓練

日時：8月19日（月）16:00～19:00

内容：災害時多言語支援センターの役割などの講義と立ち上げ訓練

講師：高木和彦氏（クレアより専門家派遣）大久保雅由氏（城陽市国際交流協会）

参加：19人

■災害時相談窓口対応訓練

日時：12月15日

内容：スタッフや関係者及びボランティアは、多言語支援センター設置訓練の講義

日本語教室学習者は、岐阜県外国人防災リーダーによる災害時対応の講義のあと

災害時多言語支援センター設置訓練及び相談窓口対応訓練を実施した。

相談窓口対応訓練：日本語教室学習者が被災者役となり、窓口に相談に来るその対応をスタ

ッフ、ボランティアが受ける訓練を実施

講師：高木和彦氏、村上典子氏（NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会）

外国人防災リーダー：アリシマ ニコラス氏

参加者：22人

■多言語の読み聞かせ

内容：市内の商業施設に設置された可児市第2図書館内で「いろいろな言葉でよみきかせ」

として絵本の読み聞かせを多言語で実施した。読み手は、募集した市民や学生。聞き手

は、無印良品やカニミライブに来てくれた親子や第二図書館に来た市民

時間：13:30～15:30

会場：ヨシズヤ可児店内可児市第2図書館 カニミライブ他

コーディネーター：山田 久子、各務 眞弓

読み手：ウラハタ ラナ、ファンティ トウ、村上 ヴァネッサ、岡崎 アイリーン、松本 恵里

フロレス メルセデス、曾我 ケイト、ナイティンゲール イメルダ、ヤスダ アキナ

アカマツ ヒロシ、カランテス ヘンリー、スズキ ヘジナ、ノズミ ヴァネッサ

安光 ユジ、安光 ケイコ、テイラオ グレイジョイス ジョイ、アダムソン 沙良

ダニー ダフニー、アキノ クリシャ、小松 真央、林 美香、トガシ エメルソン、

トガシ ユミ、各務 眞弓、山田 久子、Vo The Tuyet

協力：可児市第2図書館の皆さま、可児市秘書政策課

日時：4月20日（土）ポルトガル語、ベトナム語

6月22日（土）日本語、フィリピン語、英語

7月27日（土）ポルトガル語、フィリピン語、英語、日本語

8月9日（金）ポルトガル語、英語、日本語

8月18日（日）ポルトガル語、日本語

9月14日（土）ポルトガル語、英語、日本語

10月19日（土）英語、日本語

11月9日（土）会場：可児市文化創造センター 可茂地区PTAのイベントに参加

英語、ポルトガル語、日本語

11月30日（土）英語、フィリピン語、ポルトガル語、日本語

- 12月21日（土） 英語、フィリピン語
1月18日（土） 日本語（予定していた2人が体調不良だったため）
2月8日（土） ポルトガル語、英語、フィリピン語
2月22日（土） フィリピン語、日本語
3月29日（土） ポルトガル語、英語、イロカノ語、ベトナム語、日本語

【成果と課題】

商業施設の中の可児市第2図書館の中というところでの読み聞かせは、関心持って聞きに来てくれる子どもだけではなく、買い物や図書館に来た大人も聞いてくれた。
読み手も少しずつ増えて、読み手が仲良くなったり交流出来たりという効果もあった。
子どもたちが読みたがったり日本語が母語ではない人が日本語で読んでくれたりもした。
ただ、遠巻きに聞きながら通り過ぎる人が多くもっと関心を持ってくれるような工夫も必要である。

■外国人住民を主体とした市民活動支援

内容：地区センター主催講座の企画運営サポート

日時：①2024年7月20日（土）子ども講座 今渡地区センター「ハロハロづくり」

講師：リム メグミ

②2024年7月30日（火）子ども講座 下恵土地区センター「ハロハロづくり」

③2024年12月14日（土）子ども講座 下恵土地区センター「クリスマス パロル作り」

講師：ダニー ダフニー

④2024年9月10日（火）下恵土地区センター「ベトナム料理づくり」

⑤2025年3月7日（金）土田地区センター「ベトナム料理づくり」

講師：ファン ティ トウ

■可児市地域づくりネットワーク会議

日時：2024年9月20日（金）18：30～20：00

参加団体：可児市（地域協働課・防災安全課）、可児市社会福祉協議会、可児市NPO協会、
可児市防災の会、可児市文化芸術振興財団、可児市多文化演劇ユニットMICHI

内容：災害時の連携について

■他団体との連携

- ・土田地区社会福祉協議会・土田地域包括支援センターとの情報交換会
- ・災害ボランティアセンターで使用する、ボランティア依頼・受入様式のやさしい日本語と英語版を作成

2) 2024年度日系人社会研修員受入事業【JICA 中部委託事業】

- ・ブラジル本国から日系人を受け入れ、子弟教育への関わりや母語、母文化の定着、家族関係などの在日日系人社会の課題を探り、日本やブラジルでの活動に生かす。
ブラジルの文化紹介や、日本語指導などを通じ、在日日系人への貢献につなげる

研修期間：10月11日～12月24日

- ・研修員：辻 ヴィトル
- ・研修内容：日本語教育及び母語教育、可児市や近隣の多文化共生について
日本語教室、KIEAの各子どもの教室、サシペレレ教室で研修
研修、見学先一覧

10	12	土	～13日 にじいろ☆キャンプ（福井県）
	15	火	可児市子育て健康プラザマーノ
	17	木	可児市立瀬田幼稚園見学
	24	木	東濃高等学校見学
	26	土	豊田市保見団地、NPO法人JUNTOS訪問
	28	月	可茂特別支援学校見学
11	8	金	今渡北小学校見学
	10	日	岐阜市内日本語教室「みんなのいばしょながら」鶺鴒ミュージアム見学
	12	火	可児市教育長訪問
	14	木	帷子小学校見学
11	15	金	第1、第2ばら教室、加茂高校定時制見学
	25	月	春里小学校多文化共生講話
	28	木	中部中学校見学
12	1	日	災害時多言語支援センター設置訓練ガイダンス
	3	火	神戸市「海外移住と文化の交流センター、ミュージアム」
	4	水	大阪府守口市役所
	7	土	東海日本語ネットワークシンポジウム参加
	10	火	瀬田幼稚園見学
	11	水	恵那市国際交流協会「東濃5市子どもの調査報告会」参加
	13	金	蘇南中学校見学
	15	日	災害時多言語支援センター設置訓練参加
	17	火	東濃高等学校国際教室授業参観
	21	土	サシペレレ教室クリスマス交流会参加
	23	月	最終報告会、評価会

3) 各種団体・学校等での多文化共生に関する連携協力事業

- ・フレビアを拠点に活動する団体の活動支援
多文化演劇ユニットMICHIの防災等の演劇手法を生かしたワークショップによる
情報伝達活動
- ・地域連携協力活動 企業、行政、学校等との連携活動
9月26日～27日 蘇南中学校2年生職場体験 2人受け入れ
企業、他団体との連携
- ・CITIZEN First Watch Project
日時：2024年8月21日（水）～8月23日（金）

- 1 日目 外国につながる子どもについての講話、journey to be continued 鑑賞
2 日目 時計作りのワークショップ、仕事の話 参加者：30 人
3 日目 さつき・かがやき教室 見学・指導サポート
協力：NPO 法人 NICE
・岐阜県外国人活躍共生社会推進課の事業に協力

4) 多文化共生関連団体との連携協力

- ① 外国人支援・多文化共生ネットワークの活動協力（入管との連携協力）
- ② 多文化子育てサロン
定期的な会議を通じた情報交換など
- ③ 全国高校入試調査への協力（岐阜県担当）
- ④ NGO との連携 企業の CSR 活動等

5) 市民交流活動

- ・フレビアカフェの常設運営 ***7月22日で事業見直しのため一時閉店**
コーヒーなどのドリンクや軽食の提供、研修室使用者や会議等への提供
災害時を意識し、飲料水や非常食のストックも兼ねる
- ・フレビアカフェの日の開催
移動販売や趣味の作品などの販売、発表の場を提供

6) 多文化理解教育事業

- ・学校や各団体への多文化共生に関する講義講師派遣（巻末に詳細掲載）
- ・研修、シンポジウム等での事例報告や講義（巻末に詳細掲載）
- ・国際理解、多文化理解講座の実施や講師派遣（巻末に詳細掲載）
- ・ドキュメンタリー映画を活用した多文化理解講義、研修など

*10月19日（土）14:00～16:35

埼玉県川口市 SKIP シティ彩の国ビジュアルプラザ映像ホール

テーマ：多様なルーツを持つ人々と共に生きる社会をつくる

主催：在日クルドと共に

*1月25日（土）14:00～

可児市文化創造センターala 映像シアター

テーマ：多文化共生プロジェクト関連企画

主催：可児市文化芸術振興財団

- ・2月16日（日）多文化プロジェクト演劇上演

主催：可児市文化芸術振興財団

12月～2月 リンクワーカーとして稽古へ参加（プロジェクトサポーター菰田）

演劇上演後に事務局長登壇しアフタートーク

4 情報交流・発信活動

- ・多言語情報誌の発行 毎月15日発行 *7月より郵送はなし
ポルトガル語、英語による地域イベントや生活情報提供
- ・メールマガジンの配信（毎月第1、3木曜日配信）
- ・facebook、Instagramの活用による情報提供

研究者、大学生等のヒアリング対応

4	19	金	日本財団
5	16	日	JICA (9/9)
5	26	日	中部大学 4年生
7	27	土	立正大学 川添さん
9	9	月	JICA 調査 (株)メトリックスワークコンサルタンツ
11	1	金	中部学院大学 小川さん
12	2	月	岐阜聖徳学園大学 3年生 3人
12	12	木	静岡県立文化芸術大学南田ゼミ生
12	14	土	岐阜大学 4年生 卒業論文
1	19	日	聖マリア女学院高等学校 2年生
1	28	火	京都大学東南アジア地域研究研究所連携教授
3	11	火	琉球大学 高橋先生他
3	25	火	沖縄国際大学

5 協会事務局体制

- ・フレビアの事務管理及び協会事務局体制

常勤7人（相談員を含む）、パート職員6人で交代勤務

開館時間：9:00～22:00 休日：水曜日及び年末年始（12/28～1/4）

- ・事務局体制

事務局長	： 各務真弓（事業統括）	フレックス勤務
事務局次長	： 近藤利恵（日本語教育他）	フレックス勤務
事務局員	： 馬木照子（ポルトガル語・スペイン語対応相談員他）	12:00～21:00
	菰田さよ（日本語教育他）	9:00～18:00
	佐久川カロリーネ（ポルトガル語対応相談員他）	9:00～18:00
	V・ジェームス・W（フィリピン語・英語対応相談員他）	9:00～18:00
	渡辺美也子（勤務シフト 火・木・日曜日）	9:00～17:00
	尾関理恵子（勤務シフト 月・金・土曜日）	9:00～18:00
	岡山佳子（勤務シフト 週5日）	9:00～17:00
	稲田静夫（勤務シフト 週4日）	17:00～22:00
	岩永良一（勤務シフト 週2日）	17:00～22:00
	久保寺哲夫（勤務シフト 週2日）	17:00～22:00
	後藤一樹（勤務シフト 週5日）	9:00～18:00
	退職：岩永、久保寺	

- ・運営委員（会）

指定管理委託事業及び協会運営業務遂行のため運営委員会を定期的で開催した。

- ・協会役員（理事）会

指定管理委託事業及び協会事業執行状況審議のため、年2回以上理事会を開催

開催期日：5月17日（金）、中間役員会12月9日

臨時役員会及び理事会：5月26日、7月23日、8月18日、1月17日

（役員会には 可児市地域協働課担当者もオブザーバーとして出席）

- ・コーディネーター会議

内容：事業の進捗及び協会事業の情報共有のため、協会が実施する事業のコーディネーターによる連絡会議

成果・課題：今年度は、事業費の圧縮に努め、経費削減の見直しを行うとともに事業運営を事務局と教室コーディネーターが個別に話し合いを重ねたため、会議としては一度も開催しなかった。来年度以降は、従来通り、定期的に会議を開催し、教室間で、交流を図りながら、成果・課題等、情報共有を行う。

- ・その他の会議

事務局スタッフ連絡会議の開催：毎週月曜日（祭日の場合は火曜日）17:00～18:00

参加会議

4	22	月	可児市 NPO 協会理事会 (5/16、8/6、8/12)
4	26	金	岐阜県多文化共生推進員意見交換会
5	20	月	発達支援コーディネーター会議 (7/10、11/20)
5	21	火	今渡北小学校 ケース会議
5	30	木	さばさば会運営会議 (5/30、6/27、7/30、8/29、9/26、10/29、11/26)
7	22	月	可児夏まつり 2024 連絡協議会
8	9	金	令和 6 年第 1 回外国人相談員等ネットワーク会議
10	29	火	県民会議
2	9	日	外多ネットミーティング
2	25	火	可茂管内在住外国人相談員等情報交換会

委嘱委員他 (委嘱順)

岐阜県安全・安心まちづくり懇談会	7/19
岐阜県多文化共生推進委員意見交換会	6/2
岐阜県県民強靱化会議	6/5、8/29
岐阜県地震防災行動計画検討委員会	2/18
岐阜県危機管理有識者会議	1/27
可児市多文化共生推進会議	9/10、3/17
岐阜県立東濃高等学校運営協議会	11/14、1/16
岐阜県立可児工業高等学校学校運営協議会	6/5、11/7、1/24
岐阜県立可児高等学校運営協議会 (菰田)	11/6、2/12
可児市立蘇南中学校運営協議会 (近藤)	5/31、10/8、2/4
可児市立中部中学校評議会	7/17、11/19、2/25
可児警察署協議会 (ジェームス)	9/12、2/21
可児市幼保小連携推進会議	2/18
可児市幼保小連携協議会	6/12、6/13、6/18、6/21
可児市地域福祉推進協議会	10/21
可児市子ども・子育て会議	9/24、12/18
タウンミーティング	12/21、3/8
可児市まち・ひと・しごと創生推進会議	8/28
可児市多文化共生推進会議	9/10、3/17
可児市国際教室代表者会	5/1、6/11、7/29、12/17、2/6
可児市国際教室担当者会	5/14、9/13、10/24、2/6
可児市要対協実務者会議	9/26、12/20、3/14
ア－ラ評議委員会	6/12、12/12、3/7
可児市要保護児童対策及び DV 対策地域協議会	6/28、9/26、12/20、3/14
文部科学省地域日本語教育 アドバイザー会議	5/24、2/26
各務原市多文化共生推進計画	3/5

依頼があった講義講師、シンポジウム、フォーラム、セミナーなど講師派遣

4	7	日	教育フォーラム 外国ルーツの子どもたちに対する教育について
4	11	木	岐阜県立衛生専門学校（グローバルヘルス）講義
4	12	金	企画提案審査会（可児市環境課）
7	3	水	可児市ファミリーサポートセンター主催子育て応援講座④
7	11	木	三菱UFJリサーチ&コンサル勉強会事例報告
7	31	水	富山大学 オンライン講義
9	6	金	岐阜大学 地域創成論
10	22	火	多治見看護専門学校
10	27	日	JICA 横浜シンポジウム
11	2	土	岐阜市国際交流協会（尾関、善本、各務）
11	25	月	多文化共生講話 春里小学校4年生
11	26	火	可茂准看護学校 人間と生活・社会 講義
12	11	水	東濃5市における外国ルーツの児童生徒状況調査報告会
12	12	木	静岡文化芸術大学 Zoomでの講義
2	10	月	ぎふNPO 災害時ボランティア研修
2	16	日	ala 多文化演劇プロジェクトトークショー
3	2	日	大垣国際交流協会「ボランティアのつどい」
3	13	木	異文化理解講話 桜ヶ丘小学校

スタッフが受けた研修、参加したシンポジウムなど

5	20	月	発達コーディネーター
5	27	月	食品衛生責任者講習
5	29	水	岐阜県多言語支援センター設置訓練
6	1	土	可児市社協 災害時ボランティアセンター設置訓練
6	6	木	休眠預金事業 関連研修（9/11、9/19、10/3、10/24）
8	9	金	岐阜県国際交流センター 相談員研修
8	31	土	岐阜県外国人防災リーダー育成研修（10/12、11/17、12/7）
9	8	日	全国高校入試調査東海ブロック会議
9	23	月	KDC 響き合い
10	30	水	発達支援者コーディネーター研修（11/20）
12	22	日	岐阜県 生活に必要な読み書き習得支援研修
12	23	月	可児市 情報セキュリティ研修
12	26	木	「外国につながるのある子ども」と学校生活における学習支援
1	21	火	岐阜県 外国にルーツをもつ子どもの学習支援の担い手研修（12/26、1/21、2/7）
2	14	金	笹川平和財団 ムスリムのライフステージ
2	23	日	南山大学 日本語教員研修会
2	25	火	可茂地区相談員研修

中堅研修等受入

8	1	木	東濃高校教員 2 名、多治見北高校
8	10	土	西可児中学校
8	20	火	今渡南小学校
11	30	土	中部中学校地域貢献活動 職員派遣

スタッフによる視察、訪問

4	22	火	認可外保育所「シカイナー」「ザイオン」見学（～8/25）
4	25	木	岐阜市日本語教室「鮎の会」訪問
5	13	火	認可外保育所「アガペ」見学
5	23	木	高山市認定 NPO まちづくりスポット訪問
8	2	土	美濃加茂国際交流協会 MIRAI 見学
10	17	木	瀬田幼稚園 見学（JICA 研修員引率）
10	24	木	東濃高校 見学（JICA 研修員引率）
10	26	土	保見団地 訪問（JICA 研修員引率）
10	28	月	可茂特別支援学校 見学（JICA 研修員引率）
11	8	金	今渡北小学校 見学（JICA 研修員引率）
11	14	木	帷子小学校 見学（JICA 研修員引率）
11	15	金	第1・第2ばら教室（JICA 研修員引率）
11	28	木	中部中学校 見学（JICA 研修員引率）
1	17	金	土岐市学習支援センター 見学
2	13	木	アジサイ保育園 見学
2	21	金	豊中国際交流協会 視察

取材等

5	30	木	中日新聞若林氏
11	25	月	読売新聞
3	27	木	共同通信社